



2021年11月9日

各 位

会 社 名 日産自動車株式会社  
代表者名 代表執行役社長兼最高経営責任者  
内田 誠  
(コード番号 7201 東証第1部)  
問合せ先 IR部 常務執行役員 辰巳 剛  
(TEL 045-523-5523)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年7月28日に公表しました2022年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想について

2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,750,000	150,000	60,000	15.33
今回発表予想(B)	8,800,000	180,000	180,000	45.99
増 減 額 ( B - A )	△950,000	30,000	120,000	30.66
増 減 率	△9.7%	20.0%	200.0%	200.0%
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	7,862,572	△150,651	△448,697	△114.67

#### 2. 修正の理由

自動車業界は、新型コロナウイルス感染拡大や半導体供給不足などの影響を受け、需要に見合う生産ができない状態が続いています。当社も減産を余儀なくされていることを受け、今年度のグローバル販売台数の見通しを440万台から380万台に修正し、あわせて売上高の見通しを9兆7,500億円から8兆8,000億円に下方修正しました。

営業利益は1,500億円から1,800億円に上方修正しました。これは、自動車の需給バランスのタイト化や新車投入によって、販売奨励金の減少が進み収益性が改善していることに加え、販売金融事業も

想定を上回る業績となっていることなどが主な要因です。これらのプラス要因によって、販売台数の減少による減益を相殺し、更に増益を見込んでいます。

親会社株主に帰属する当期純利益の見通しは 600 億円から 1,800 億円に上方修正しました。これは、営業利益の上方修正と、持分法適用会社による投資利益の改善が主な要因です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取りまく経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績が現状の見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上